

令和 2 (2020)年度

事 業 報 告 書

自 ; 令和 2 年 (2020年) 3 月 1 日

至 ; 令和 3 年 (2021年) 2 月 28日

公益財団法人

日本高等学校野球連盟

1. 高等学校野球の普及、振興、指導及び監督

- (1) 年度内に評議員会を2回（定時1回）、理事会を12回、それぞれ開催して案件の審議、決定を行いました。また業務運営委員会を年7回開催（4、7、9～11、1、2月を除く）して当面の諸案件について協議、連盟運営の円滑化を図りました。
- (2) 年度内に各種委員会（総務、財務、審判規則、選手権大会運営、選抜大会運営、軟式部、医科学、技術・振興、プロアマ健全化）を必要に応じて随時開催し、諸問題の検討を行い、高等学校野球の健全な育成、発達に努めました。また、審議委員会を開催し（全体委員会を年3回、小委員会を週1回計45回）、不祥事件に対する指導を行うとともに、不祥事件発生防止の重点目標を5項目（指導者の部内暴力の根絶、部員のいじめ行為の絶滅、インターネットや携帯電話のメールによる迷惑行為の防止、部活動引退後の3年生部員への指導の徹底、アウトオブシーズン中の指導の徹底）を挙げて、諸会議や通達で指導徹底を行いました。さらに「高校野球200年構想」推進委員会を随時開催し、「普及・振興」「けが予防・育成」「財政・財源」を3つの柱として、高校野球の未来について協議しました。
- (3) 年度内に各都道府県高等学校野球連盟会長会議を1回、同理事長会議を4回それぞれ開催し、新型コロナウイルス感染拡大の中、例年以上に加盟団体との連絡と諸問題の伝達、徹底を計りました。
- (4) 本年度も『大会参加者資格規定』を定め、各都道府県連盟に通達し、加盟校への指導を要請しました。
- (5) 各種表彰（日本学生野球協会優秀選手表彰、育成功労賞表彰）を行いました。
- (6) 高等学校野球の普及、振興のため、部員不足による連合チームの大会参加

2. 高等学校野球大会その他の試合の開催及び協力

当初開催を予定していた諸野球大会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、秋季地区大会を除いて中止もしくは延期となったが、8月に2020年高校野球交流試合を開催した。

(1) 2020年高校野球交流試合

第92回選抜高校野球大会ならびに第102回全国高校野球選手権大会の開催中止決定後、阪神甲子園球場で1試合でも試合をする機会を提供できないかと考え、第92回選抜大会出場が決まっていた32校を招待して、各校1試合を実施することとした。※実施要項ならびに試合結果は添付資料参照

期 日 令和2年8月10日（月）～12日（水）

・15日（土）～17日（月） 6日間 雨天順延

場 所 阪神甲子園球場

参加校 第92回選抜高校野球大会出場32校

(2) 秋季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道(札幌)、東北(宮城)、関東(千葉)、東京、北信越(富山)、東海(三重)、近畿(京都)、中国(島根)、四国(高知)、九州(長崎)の全国10地区で令和2年10月上旬から11月上旬にかけて開催しました。

▷ 中止

- ・第92回選抜高等学校野球大会
- ・第102回全国高等学校野球選手権大会
- ・第65回全国高等学校軟式野球選手権大会
- ・第51回明治神宮野球大会・高等学校の部
- ・春季地区大会

▷ 延期

鹿児島県で開催予定の第75回国民体育大会・高等学校野球競技は2年延期となり、令和5(2023)年に特別大会として開催予定。

3. 高等学校野球に関する調査及び研究

(1) 加盟校数、部員数調査

令和2年7月末現在の硬式、軟式それぞれの加盟校数、部員数調査を今年も実施しました。集計結果は硬式が138,054人(5,813人減)で6年連続の減少、軟式が7,787人(427人減)で7年連続の減少。また、加盟校数は硬式が昨年から25校減の3,932校、軟式が8校減の408校。

4. 高等学校野球選手、部員等のスポーツ障害予防及び健康増進

- (1) 今年度から、公式戦において1週間500球以内の投球数制限を3年間の試行期間を設けて実施、スポーツ障害の予防に努めました。

5. 高等学校野球に関する講習会・研修会の開催

(1) 新任理事長研修会

令和2年度新たに就任した都道府県連盟理事長・専務理事7人(山形、埼玉、岐阜、奈良、香川、宮崎、沖縄)を対象に、当初予定していた令和2年5月下旬から令和3年1月30日(土)に日程を変更して、オンラインによる研修会を開催しました。

(2) 審判講習会

当初予定していた第60回全国審判講習会(令和2年4月25、26日)、少年野球審判研修会、審判委員スキルアップ研修会は全て中止した。

また、全国9地区での地区別審判講習会の中止に伴い、同講習会への講師派遣も中止した。

(3) 指導者育成プログラム「高校野球・甲子園塾」

令和2年11月ならびに12月に予定していた高校野球・甲子園塾を中止した。

(4) プロ野球現役選手によるシンポジウム「夢の向こうに」

令和2年12月12日(土)に愛媛県での開催を予定していたシンポジウムを中止し

た。

6. 高等学校野球を通じた国際交流及び国際相互理解の推進

9月に台湾で開催される予定であった第13回BFA アジア野球選手権大会が新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となった。

7. 高等学校野球に関する関係諸団体との協力及び提携

(1) 野球各団体との提携

全日本野球協会、日本野球連盟、日本学生野球協会、全日本大学野球連盟と定期的に打ち合わせを開催。

(2) 学生野球資格回復に関する協議会

日本学生野球協会と日本野球機構ならびに日本プロ野球選手会が元プロ野球選手の学生野球資格回復について検討する学生野球資格回復に関する協議会に参画しました。

8. 就学前児童、小学生、中学生に対する野球の普及、振興

小学校、中学校野球選手、部員等のスポーツ障害予防及び健康増進
小学校、中学校野球に関する関係諸団体との協力及び提携

(1) 高校野球200年構想関連事業

普及、振興、けが予防、育成、基盤作りをテーマに、高校生だけでなく就学前児童、小学生、中学生まで対象を拡げて、各種事業を実施していく予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年目となる本年度は原則として中止（凍結）としたため、都道府県高等学校野球連盟主体事業は3県のみであった。

また、都道府県高校野球連盟の運営や夏の独自大会に対して助成を行う目的で、高校野球200年構想推進基金1億円を取り崩した。

以 上